

■コメント

1. RSウイルス感染症

定点当たり0.83人の報告があり、前週と比べて増加しています。

RSウイルス感染症は年齢を問わず繰り返し感染しますが、年齢が低いほど重症化しやすいため、乳幼児においてはより一層注意が必要です。

2. インフルエンザ

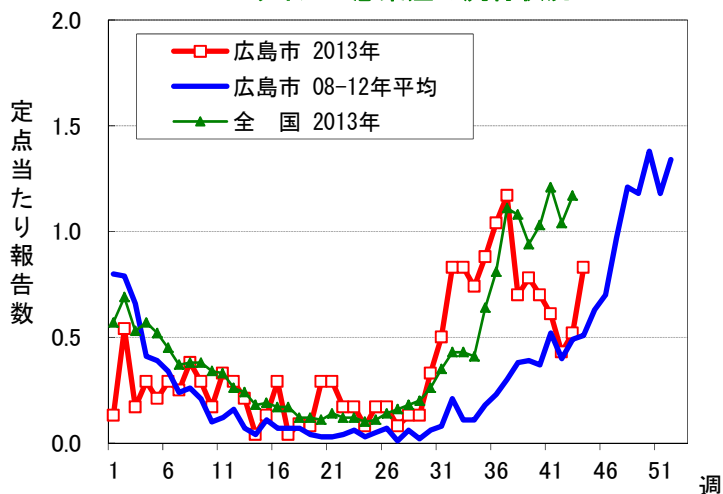
市内の定点医療機関から今シーズン(2013/14)初めての報告が1件ありました(迅速診断キット:A型陽性)。

インフルエンザの流行時期が近づいています。

予防のためには、流行前の予防接種が有効です。流行時期に間に合うよう、早めに受けることをお勧めします。

また、手洗い・うがいの励行など感染予防を心がけましょう。(過去の流行状況は次頁参照)

RSウイルス感染症の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年(注)	発生記号	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年(注)	発生記号
インフルエンザ	1	0.03	6.96		流行性耳下腺炎	8	0.35	0.41	
咽頭結膜熱	17	0.74	0.16		RSウイルス感染症	19	0.83	0.51	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	28	1.22	0.95		急性出血性結膜炎	-	-	-	
感染性胃腸炎	112	4.87	3.45		流行性角結膜炎	8	1.00	0.43	
水痘	22	0.96	1.14		細菌性髄膜炎	-	-	-	
手足口病	8	0.35	0.34		無菌性髄膜炎	-	-	0.09	
伝染性紅斑	-	-	0.12		マイコプラズマ肺炎	2	0.29	0.69	
突発性発しん	10	0.43	0.57		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
百日咳	-	-	0.21		*感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.14		
ヘルパンギーナ	2	0.09	0.04						

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	→	←	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

* 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)は、感染症法施行規則の一部改正(2013年10月14日施行)により、五類感染症の基幹定点医療機関報告対象疾病に追加されました。

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	169	男性(60歳代)・2人

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶血性 レンサ球 菌咽頭炎	感染性胃腸 炎	水痘	手足口 病	伝染性紅 斑	突発性発し ん	百日咳	ヘルパ ンギーナ	流行性耳下 腺炎	RSウイル ス感 染症	急性出血性結 膜炎	流行性角結 膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプラ ズマ肺 炎	クラミジ ア肺炎	(ロタウ イルス) 感染性胃腸 炎
報告数	広島市	第40週	-	16	20	78	31	19	-	13	-	13	6	16	-	8	-	2	1	-	-
		第41週	-	11	18	77	18	20	-	18	-	11	12	14	1	5	-	2	-	-	-
		第42週	-	15	8	75	16	7	-	9	-	2	5	10	-	7	-	2	2	-	-
		第43週	-	19	19	116	11	16	-	6	-	5	9	12	1	6	-	2	2	-	-
		第44週	1	17	28	112	22	8	-	10	-	2	8	19	-	8	-	-	2	-	1
定点 当 た り	広島市	第40週	-	0.70	0.87	3.39	1.35	0.83	-	0.57	-	0.57	0.26	0.70	-	1.00	-	0.29	0.14	-	-
		第41週	-	0.48	0.78	3.35	0.78	0.87	-	0.78	-	0.48	0.52	0.61	0.13	0.63	-	0.29	-	-	-
		第42週	-	0.65	0.35	3.26	0.70	0.30	-	0.39	-	0.09	0.22	0.43	-	0.88	-	0.29	0.29	-	-
		第43週	-	0.83	0.83	5.04	0.48	0.70	-	0.26	-	0.22	0.39	0.52	0.13	0.75	-	0.29	0.29	-	-
		第44週	0.03	0.74	1.22	4.87	0.96	0.35	-	0.43	-	0.09	0.35	0.83	-	1.00	-	-	0.29	-	0.14
	全国	第42週	0.02	0.25	0.76	2.90	0.55	1.29	0.03	0.49	0.01	0.19	0.22	1.04	0.01	0.47	0.03	0.05	0.35	0.02	-
		第43週	0.06	0.28	1.10	3.68	0.54	1.06	0.04	0.54	0.01	0.15	0.22	1.17	0.01	0.53	0.01	0.06	0.43	0.04	-

■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	発熱(38.3) 上気道炎 熱性痙攣	5	男	2013/10/15	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌
川崎病	発熱(39.2) 発疹 紅斑 上気道炎	0	女	2013/09/22	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA8型 エンテロウイルス68型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市におけるインフルエンザの流行状況

シーズン	初めて報告があった週	流行開始の目安である 定点当たり1.00人以上となった週	ピークとなった週と その週の定点当たり報告数
13/14	第44週 (10月28日～11月 3日)		
12/13	第44週 (10月29日～11月 4日)	第51週 (12月17日～12月23日)	第 4週 (1月21日～ 1月27日) 50.59人
11/12	第40週 (10月 3日～10月 9日)	第48週 (11月28日～12月 4日)	第 5週 (1月30日～ 2月 5日) 28.95人
10/11	第40週 (10月 4日～10月10日)	第 1週 (1月 3日～ 1月 9日)	第 5週 (1月31日～ 2月 6日) 28.54人
09/10	第27週 (6月29日～ 7月 5日)	第34週 (8月17日～ 8月23日)	第48週 (11月23日～11月29日) 40.49人
08/09	第42週 (10月13日～10月19日)	第49週 (12月 1日～12月 7日)	第 5週 (1月26日～ 2月 1日) 36.70人
07/08	第43週 (10月22日～10月28日)	第47週 (11月19日～11月25日)	第51週 (12月17日～12月23日) 14.11人
06/07	第44週 (10月30日～11月 5日)	第 3週 (1月15日～ 1月21日)	第11週 (3月12日～ 3月18日) 29.03人
05/06	第41週 (10月10日～10月16日)	第49週 (12月 5日～12月11日)	第 4週 (1月23日～ 1月29日) 51.08人
04/05	第47週 (11月15日～11月21日)	第 3週 (1月17日～ 1月23日)	第 8週 (2月21日～ 2月27日) 55.84人

インフルエンザ定点医療機関(市内37か所)からの報告数です。

インフルエンザの1シーズンは9月から翌年の8月までです。ただし、09/10シーズンは、インフルエンザ(H1N1)2009が通常の季節性インフルエンザに比べ早期に流行したため、初めて報告があった週(第27週)は厳密には08/09シーズンに含まれますが、流行状況を考慮して09/10シーズンとしました。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。
なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2013年第44週(10月28日～11月3日)